

関西中華總商會が法人移行を完了

3月30日(水)、桜が満開を迎えるリーガロイヤルホテル大阪で、本会の関西分会である関西中華總商會の2022年定期會員總會が開かれました。何玲青會長より、昨年からはまった本部との調整、そして準備と手続きについての説明があり、ついこの3月に関西中華總商會が一般社団法人への移行が完了したとの報告がありました。お祝いに駆け付けた日本中華總商會の嚴浩理事長は何玲青會長と両法人の関係を定めた覚書に署名を入れました。



関西中華總商會は本会の関西地域で活動される分会として2013年6月に設立され、現在約90社/個人の會員を擁するようになつて來ました。2025年の大阪万博を見据えて関西地域における華僑華人の代表的な經濟団体として更なる發展を圖り、そして社会的責任を果たすために、一般社団法人への移行を決意した次第です。

お祝いの言葉の中で、嚴理事長は関西分会の法人化は、總商會の中で初の試みであり、是非他の見本となるべくしっかりやっけて頂きたいと述べました。また、関西分会の發展は總商會全体への貢獻でもあり、両者の連携がうまく進むために、関西の皆さんに本部の活動や運営にもっと積極的に参画してほしいと期待を述べました。

日本中華總商會 事務局
2022年3月30日